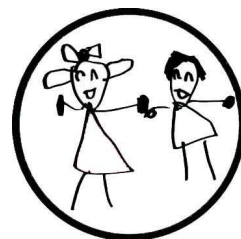


おやこの広場通信



はらっぱ NO.25



暑い暑い夏が終わり、少しホッとできる季節になりました。夏休みは、いかがでしたか？子どもたちは、たくさんの経験をして、またひとまわり大きくなったことでしょう。今日からおやこの広場の2学期が始まりました。一日も早く夏の疲れをとって、元気に秋を迎えましょう。

今月は、7月の水遊びと、8月の夕涼み会の様子をお知らせいたします。

<7月のおやこの広場から...>

今年の水遊びは悪天候が続く中で、2回行う事ができました。2回とも楽しい時間でした。

水遊び初体験のAくんも、水遊び大好きでうつ伏せになってバタ足をして遊んだBくんも、お豆腐の空パックに穴をあけて作った玩具のシャワーを何回も頭に浴びたCくんも、そしてその側で極力水がかかるところを避けながらも野菜の玩具を洗っていたDくんも、みんなそれぞれに水遊びを満喫していましたね。

また、女の子の水着への思いは可愛らしく、水遊びはしなかったけれども水着をお家から着て来て見せてくれたEちゃん。水遊びはしたけれども、大切な水着を濡らしたくなくてしゃがんでお尻をつけなかったFちゃん。後日水遊びの写真に見とれながら「Gちゃんかわいい！」と水遊びの事を楽しそうに思い出していたGちゃん。

お友だちと楽しい水遊びの思い出ができて一緒にいる私たちも嬉しい気持ちでいっぱいになりました。来年もまた楽しい水遊びの時間を過ごしたいですね。

<夕涼み会から...>

8月23日(木)に夏休みの恒例行事である夕涼み会が行われました。早朝から強い雨が降り、夕方の空模様が心配されましたが、その雨もお昼までにはすっかり上がりました。参加者は子どもが0Bや兄弟姉妹も含め49名、大人がお母様やお父様方そして教会員ボランティアのヘルパーやスタッフを含めて47名、総勢96名のにぎやかな会となりました。

開始時刻の夕方5時が待ちきれない様子の浴衣や甚平姿の子どもたちのにぎやかな声が玄関から聞こえ、ほどなく楽しい会がスタートしました。首からチケットの束をぶら下げた子どもたちが、そのチケットと引き換えで思い思いにヨーヨーつりや玉入れ、ボーリングなどのゲームを楽しみました。特にボーリングのコーナーではカラフルなペットボトルのピンが倒れると、嬉しそうな笑顔とともに歓声があがり、とても盛り上がっていました。また、野菜スタンプの手作りうちわのコーナーもなかなかの人気で、自分が押したオクラやレンコン、ピーマンなどのスタンプが思いがけない形となって、真っ白なうちわの上に赤やみどりの鮮やかな色で表れると、とても楽しそうに目を輝かせて、いろいろ試していました。そして食べ物のコーナーにはスタッフ手作りの焼きそば、ポップコーン、おほしさまゼリー、フランクフルトなどが並び、チケットを持って「焼きそばください！」などと好きなものを自分で換えに来るのも大切な楽しみの一つのようなのでした。

お父様やお母様、お兄ちゃんやお姉ちゃんそして仲良しのお友達と食べたり、おしゃべりしたり、遊んだり、また久しぶりの嬉しい再会があったりと、2時間という短い時間でしたが子どもも大人もこの夏の思い出の1ページを飾るとても楽しい交わりの時とすることが出来たのではないのでしょうか。



でんごんぱん 9月の予定

* 音楽遊び:14日(金)・26日(水)

* 親子制作 紙コップで作る「ハイ ジャンプ」 お子さまの名前が書いてある袋に材料がセットされていますので、お好きな時に親子でお作りください。

こんな時どうしますか？

我が子の幼稚園を選ぶときー

夏休みが終わると、来年度幼稚園に入園のお子さんを持つご家庭では、幼稚園選びが本格的になりますね。親御さんと離れて過ごされる初めての集団生活、お子さんにとってより良い環境を選んであげたいと悩まれることは当然のことです。「でも、何が『より良い環境』なの？」とお考えでしょう。これからお話することは、あくまでも一つの考え方で絶対的なものではありません。今までの拙い経験に基づいて、ご相談して下さる方にその時々アドバイスしてきたことをまとめたものですが、一つの参考として少しでもお役に立てば嬉しく思います。

一番大切にしておきたいことは、幼稚園生活の主役はあなたのお子さんだということです。初めて一人で歩き出す不安いっぱいのお子さんが、安心して伸び伸びと自分らしく楽しく過ごせる環境を選んであげてください。だからと、2、3歳のお子さんに「どこの幼稚園が良いの？」とお聞きになっても難しいでしょうし、たとえ幼稚園とおっしゃってもそれが正しいとも言えません。それはいろいろな幼稚園に触れてみて、そこでのお子さんの様子をごらんになったり、また親御さんがご自分のお子さんに適していると感じる園を見極めてあげてください。

次に大切なことは、親御さん(特にお母さまとなると思います)が、幼稚園生活を無理をせずに過ごせるかということです。幼稚園時代のお友達つき合いには、どうしても相手のご家庭との関わりが関係してきます。もちろん100%同じ環境や価値観ということではありませんが、ある程度理解しあえる関係が持てないとやがて無理が生じてきます。その極め付けが、母親同士の関係から来たストレスが引き起こした、近年ニュースになった悲惨ないくつかの事件なのです。そこまでは行かずとも、お母さまの辛い気持ちが親子共に幼稚園生活を暗くしてしまわぬようにしたいものです。まずは、園の保育方針(経済面も含めて)に賛同できれば、その考え方に沿った親御さんが集まるはずですから一つの基準になりますね。ただ、それだけでは済まないこともありますから、降園時間に園の近くを通りがかり、お迎えのお母さまの服装や雰囲気などから感じることも一つの方法です。



これからは、保育見学、公開保育、入園説明会、運動会、バザーなど、園の様子を紹介するさまざまな機会がありますから、できるだけ機会多く、お子さんとご一緒に参加されることをお勧めします。複数の園をごらんになることで、見る目も肥えて比較することもできるようになります。その時のポイントとしては、

園の環境 園舎や園庭の設備には子どもへの配慮があり、清潔さや安全性が保たれているか

保育者の姿 暖かい雰囲気や子どもへの気配りがあるか？保育者間の連携が取れているか？

子ども達の姿 生き生きとした目で、楽しく園の中で過ごしているか？

概ねこのようなことを頭に入れてごらんになると、ある程度の判断ができると思います。またできるだけ、園長や主任、保育者と言葉を交わすこともお勧めします。些細な質問で構いませんので、その時の対応の仕方やしぐりなどから感じられることも結構重要な要素になります。

それから、登降園の時間帯に園の近くにいらっしやると、子ども達の様子や保育者やお母さまなどのやり取りをごらんなることができ、そこから園の雰囲気がわかることもあります。運動会などは出来上りの素晴らしさよりも、園児や保育者が楽しそうにしているかを見てください。できれば少し前の時期に園庭での練習風景を覗いて、園児が楽しい気持ちで当日を向えられるような盛り上げ方をしているのか、出来栄えに気持ちが行き過ぎ、目の前の園児達の気持ちが置き去りにされていないかをごらんになることもいいと思います。

大切なお子さんがこれから2～3年間を過ごす場ですから、大いに迷い大いに悩んでください。けれども、完璧な幼稚園はありませんから、ご自分やご家族の中で、ある程度の妥協点も持ちつつ決めてください。ご両親の間で、またご祖父母さまとの間で意見が異なることもあるでしょう。伝統のある園だから、親族みんなが行っているから、お友達が行くからなどの理由で周囲からのプレッシャーがあっても、もし別の園を選びたいのであればそのことを周囲にも理解していただき、中心であるお子さんとお母さまの気持ちを優先に考えて話し合うことができると素晴らしいですね。よい道が見つかることを応援しています。